

「大城小学校の米づくり伝承活動の取組」

1 学校名

和泊町立大城小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計43人）

3 日時・場所

(1) 活動の日時・場所

3・4年生：総合的な学習の時間（体験活動：27，探究活動23，計50時間）

1月下旬 種まき・育苗

3月12日 代かき （3・4年）

3月16日 田植え （全学年，保護者，地域の方々）

5月2日 草取り（外2回）（3・4年）

7月13日 稲刈り （全学年，保護者，地域の方々）

脱穀 （3・4年）（脱穀後冷蔵保存）

10月中旬から 精米 （3・4年）

11月4日 餅つき （全学年，保護者，地域の方々）

(2) もち米の利用について

収穫したもち米は，11月の教育週間中に餅つき大会で使用する。ついた餅は，児童とお世話になっている地域の方々に配布している。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

復活，わたしたちの美田（うました）

(2) 由来

校歌に「美田（うました）下に見下ろして」とあるように，かつては米づくりが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から水田が姿を消す中，児童に昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから昭和60年に学校横に水田を復活させ，以来毎年米づくりを行っている。

5 地域との連携の具体

活動は3・4年生児童とその保護者，PTA事業部を中心に行っている。令和3年度からは，PTAのOBや地域の方が参加する「大城小もりあげ隊」の協力も得ながら活動に取り組んでいる。技術的な面は，地域で詳しい方に助言をいただいたり，これまでの資料を活用・改善したりしながら取り組んできた。また，餅つきでは，餅のつき方や丸め方の指導を，「大城小もりあげ隊」の方々の協力をいただいている。多くの方の協力により，児童は貴重な体験をすることができている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

3・4年生が中心となり総合的な学習の時間で米づくりを行っている。その他の学年は，田植えや稲刈りに協力する形で体験に取り組んでいる。また，学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して，米づくりや餅つき大会には，保護者だけでなく「大城小もりあげ隊」の方や地域の長寿会に協力を依頼し，交流活動を行っている。

7 取組の様子



【田植えの様子】



【稲刈りの様子】



【千歯こぎを使った脱穀の様子】



【足踏み脱穀機を使った脱穀の様子】



【長寿会の方々と一緒に餅つき体験】



【地域の方と一緒に餅を丸めます】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【3・4年生児童の感想】

- 手伝いに来てくれた地域の方たちは、餅を丸めるのがとても上手だと思いました。教えてもらって私も少しだけ上手にできるようになり、うれしかったです。
- 3・4年生で作ったもち米が、みんなに「おいしい」と言われてとてもうれしかった。だから、いつもの餅よりも2倍おいしく感じた。
- とても重たい杵を持ち上げて餅をつくのは、とても大変でした。
- 大変なこともあった餅つき大会でしたが、ふり返るとたのしかったです。

【参加者の感想】

- コロナ禍で、感染症対策に注意しながらの実施は大変だったと思いますが、子供たちとの久しぶりの交流で元気をもらいました。
- 来年も是非参加したいと思います。楽しかった。